

【御注意】

本資料は、あくまでも比較検討のためのご参考資料です。仕様の詳細については、各製品の公式資料でのご確認をお願いします。

本資料に記載されている内容は、予告なく変更する場合があります。

また記述誤りにより問題が発生した場合でも、弊社では一切責任は負いませんので、ご了承のほどお願いします。

本資料の内容を、転載、複製、配布することは一切禁止します。

本資料のお問い合わせは、(株式会社ルネサステクノロジ様ではなく)株式会社サニー技研(info@sunnygiken.co.jp)までお願いします。

M16C/62Pコンパクトエミュレータは内部的にはM16C/.62PをエミュレートMCUとして使用している関係上、M16C/26を本機でデバッグする上で以下のような制約事項がございます。

項目	M16C/26仕様	S3062PT-CPE制限事項
XINクロック	XIN Max 20MHz	XINに入力可能なクロックはMax 16MHzとなっております。 (発振子基板およびXIN直接クロック入力とも) ただし、デバッグ時のみ62PのPLLを使用して、16MHz以下のクロックをご使用いただき、逡倍いただければ20MHzでのご使用は可能です。 RC発振には対応はしていません。
対応MCUモード	シングルチップモード専用	PD30Sでは起動時にメモリ拡張選択のダイアログが出力されますが、M16C/26では対応していませんので、この設定はシングルチップモードを選択するようにしてください。
フラッシュ領域メモリ	フラッシュメモリ領域 ・ F000H ~ FFFFH ・ F0000H ~ FFFFFH	フラッシュメモリ書き込みのデバッグに対応していません。(デバッガから、この領域へのプログラムロードは可能となっております。)
NMI/P85	リセット後NMIは禁止です。NMIを利用するためには、P85/NMI機能切りりかえビット(001EH番地のビット4)を"1"に変更する必要があります。	NMI割り込み機能はリセット後から有効です。また入力専用になっており、対応するP85ポートに対する出力機能、プルアップ制御のデバッグには対応していません。
P15/P16/P17	プルアップ制御可能	510K プルアップ抵抗が強制的に入ります。 S3062PT-CPEにおけるP1と同様の制限があります。
P100 ~ P107	AD入力およびプルアップ制御	S3062PT-CPEにおけるP10と同様の制限があります。

その他の制限に関してはM16C/62Pでの制限に依存します。詳細につきましてはS3062PT-CPE取り扱い説明書をご参照ください。

M30262T-PTC詳細についてはルネサステクノロジのホームページをご参照ください。